

発がん等慢性疾患への関与が懸念される産業化学物質の把握と予防的アプローチに関する取組

【研究概要】

本研究では、GHS 分類における「生殖細胞変異原性」や「発がん性」の未分類物質 2000 物質以上を対象に、*in silico*（構造活性相関を用いたシミュレーションやデータ解析）及び *in vitro*（細胞や組織を用いた実験）手法を用いたスクリーニングにより、発がん等、慢性疾患を引き起こすことが強く懸念される物質を把握し、そのリストを作成、広く公開することで、当該 GHS 未分類項目の区分決定の加速を促すこと、及び、化学物質の自律的な管理に参考となる情報を提供することを目的とする。

